

# 平成23年度事業報告書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

## 1. 会員の状況

平成24年3月31日現在の会員数は、次のとおりである。

正会員	990名
賛助会員	21社
名誉会員	24名
功労会員	56名

## 2. 代議員（社員）の状況

158名（平成24年3月31日現在）

## 3. 役員の状況

代表理事（理事長）	坂田洋一			
理事	浅田祐士郎	一瀬白帝	内山真一郎	尾崎由基男
	嶋 緑倫	鈴木宏治	富山佳昭	藤村吉博
	松下 正	宮田敏行	村田 満	和田英夫
監事	白幡 聡	松野一彦	大村醇吉	

## 4. 運営組織の状況に関する事項

### 1 社員総会の開催状況

第3回定時社員総会

平成23年7月23日(土) 12時～12:45

開催場所 国立京都国際会館メインホール

## 報告事項

平成22年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)事業報告

## 議 案

第1号議案 平成22年度計算書類承認の件（原案どおり承認）

第2号議案 定款一部変更の件（原案どおり承認）

第3号議案 理事13名選任の件（原案どおり承認）

## 2 理事会の開催状況

(1) 平成23年4月13日(水)

第1回理事会については、15名の理事全員が同意の意思表示をし、議案に賛成したので本会の理事会規則第9条の規定により、当該議案につき、理事会の議決があったとみなされた。

①理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 第34回学術集会プログラム委員承認の件（原案どおり承認）

②①の事項を提案した理事の氏名

内山真一郎（第34回学術集会会長）

③理事会の決議があったとみなされた日

平成23年4月13日

(2) 平成23年5月14日(土) 11時～14時

出席者 出席理事 12名 出席監事 1名

開催場所 日本コンベンションサービス会議室

### \*議 題

第1号議案 第35回(平成25年度)学術集会会長選任の件(一瀬白帝理事を選任)

第2号議案 次期理事候補者選考の件

代議員から理事候補者の推薦を受け、理事会において社員総会に推薦する理事を選考する件(可決)

第3号議案 平成22年度計算書類承認の件(可決)

第4号議案 主たる事務所を東京都文京区音羽1丁目15番12号に移転する件について、定時社員総会において定款変更の承認を得る件(可決)

第5号議案 「ワルファリン添付文書改訂」の件(可決)

第6号議案 アジア若手研究者育成基金選考委員会規程の件(可決)

第7号議案 東日本大震災への支援事業の件(可決)

第8号議案 学術集会企画委員会内規の件(継続審議)

#### 報告事項

第1 東日本大震災義捐金の件

第2 東日本大震災への支援事業の件

(3) 平成23年6月25日(土) 16時～18時

出席者 出席理事 14名 出席監事 2名

開催場所 東京国際フォーラム 会議室G604

#### \*議 題

第1号議案 定時社員総会開催の件(可決)

第2号議案 名誉理事長及び顧問を設ける件(可決)

第3号議案 定款一部変更の件(可決)

第4号議案 新理事候補者推薦の件(可決)

#### 報告事項

第1 平成22年度事業報告

第2 第34回学術集会開催準備状況の件

第3 第23回国際血栓止血学会準備状況の件

(4) 平成23年7月23日(土)

出席者 出席理事 13名 出席監事 3名

開催場所 国立京都国際会館 会議室

#### \*議 案

第1号議案 代表理事選任の件(可決)

新代表理事 坂田洋一

(5) 平成23年9月4日(日) 11時～14時

出席者 出席理事 13名 出席監事 3名

開催場所 東京国際フォーラム 会議室G401

\*議案

第1号議案 各委員会委員長・運営委員会委員の選任(可決)

編集委員会	委員長	浦野哲盟
学術推進委員会	委員長	宮田敏行
学術標準化委員会	委員長	尾崎由基男
学術奨励賞選考委員会	委員長	藤村吉博
学術集会企画委員会	委員長	一瀬白帝
COI委員会	委員長	浅田祐士郎
選挙管理委員会	委員長	松下 正
運営委員会	庶務担当委員	三室 淳
運営委員会	会計担当委員	苅尾七臣
運営委員会	渉外担当委員	後藤信哉
運営委員会	広報担当委員	小嶋哲人

第2号議案 名誉理事長及び顧問選任の件(可決)

名誉理事長 池田康夫

顧問 居石克夫 吉岡 章

第3号議案 「ノボセブン(270 $\mu$ g/ml)の単回投与に対する適用外薬の  
要望書」を厚労省へ提出の件(可決)

審議事項

1. 「ヘパリン在宅自己注射療法の適応と指針」案の件
2. 第36回日本血栓止血学会学術集会会長の件

(6) 平成23年10月24日(月)

第6回理事会については、13名の理事全員が同意の意思表示をし、議案に賛成した

ので本会の理事会規則第9条の規定により、当該議案につき、理事会の議決があったとみなされた。

①理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 「血栓止血教育プログラム推進プロジェクトの創設の件」  
(原案どおり承認)

②①の事項を提案した理事の氏名

理事長 坂田洋一

③理事会の決議があったとみなされた日

平成23年10月24日

(7) 平成24年1月7日(土) 14時～17時

出席者 出席理事 13名 出席監事 3名

開催場所 東京国際フォーラム 会議室G605

\*議案

第1号議案 各委員会委員長及び委員の選任の件(可決)

①教育プログラム推進委員会

委員長 嶋 緑倫

委員 内山真一郎 後藤信哉 富山佳昭 松下 正 矢富 裕 和田英夫

②学術奨励賞選考委員会

委員 矢富 裕 岡田清孝

③編集委員

委員 松原由美子 中村真潮 江口 豊 鈴木優子 山下 篤

第2号議案 学術推進委員会部会新設の件(可決)

「動物モデル部会」部会長 永井信夫

第3号議案 定款施行細則及び内規の一部改正の件(可決)

第4号議案 第36回(平成26年度)学術集会会長選任の件(可決)

第36回学術集会会長 宮田敏行

## 報告事項

- 第1 平成24年度学術奨励賞受賞者選考結果報告
- 第2 第2回日本医学会分科会利益相反会議報告
- 第3 第34回学術集会準備状況報告
- 第4 第35回学術集会の件
- 第5 エーザイと持田製薬医薬品改訂へ協力の件

(8) 平成24年3月27日(火)

第8回理事会については、13名の理事全員が同意の意思表示をし、議案に賛成したので本会の理事会規則第9条の規定により、当該議案につき、理事会の議決があったとみなされた。

①理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 平成24年度事業計画及び収支予算書承認の件（原案どおり承認）

②①の事項を提案した理事の氏名

理事長 坂田洋一

③理事会の決議があったとみなされた日

平成24年3月27日

## 5. 事業の状況

(1) 第23回国際血栓止血学会開催への協力

平成23年7月23日～7月28日

会長 池田康夫（早稲田大学理工学術院教授）

会場 国立京都国際会館

(2) 第6回学術標準化委員会シンポジウム

平成24年1月21日(土)

世話人 田中一郎(奈良県立医科大学小児科)

会場 東医健保会館

(3) 会誌の刊行事業

- 1. 日本血栓止血学会誌
  - 22巻3号 (平成23年6月号)
  - 22巻4号 (平成23年8月号)
  - 22巻5号 (平成23年10月号)
  - 22巻6号 (平成23年12月号)
  - 23巻1号 (平成24年2月号)

(4) その他の事業

- 1. 東日本大震災に対する支援
  - 学術標準化委員会①静脈血栓症/肺塞栓症部会 ②血友病部会を中心にした  
大震災支援事業を遂行
  
- 2. 後天性血友病A診療ガイドライン発行

# 貸借対照表

(平成24年 3月 31日 現在)

(単位：円)

I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金及び預金	128,649,150	
前渡金	1,000,000	
前払費用	<u>136,500</u>	
流動資産合計		129,785,650
2. 固定資産		
敷金	<u>130,000</u>	
固定資産合計		<u>130,000</u>
資産の部合計		129,915,650
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受会費	7,111,000	
預り金	194,414	
未払税金	<u>462,000</u>	
流動負債合計		<u>7,767,414</u>
負債の部合計		7,767,414
III. 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
学術奨励賞基金	5,000,000	
特別基金	15,000,000	
指定正味財産合計		<u>20,000,000</u>
2. 一般正味財産		
		<u>102,148,236</u>
正味財産合計		<u>122,148,236</u>
負債及び正味財産合計		129,915,650



# 正味財産増減計算書

(平成23年4月1日 から 平成24年3月31日 まで)

(単位: 円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①受取会費	14,362,000
②受取寄付金	38,320,000
③事業収益 (注1)	5,317,736
④雑収益	58,095
経常収益計	58,057,831
(2) 経常費用	
①事業費	
会誌印刷費	6,314,765
編集費	603,335
運送費	432,964
I T事業費	200,572
S S C事業費	5,246,356
②管理費 (注2)	20,776,803
経常費用計	33,574,795
当期経常増減額	24,483,036
税引前当期一般正味財産増減額	24,483,036
法人税、住民税及び事業税	382,300
当期一般正味財産増減額	24,100,736
指定正味財産振替額	△8,260,000
一般正味財産期首残高	86,307,500
一般正味財産期末残高	102,148,236
II 指定正味財産増減の部	△6,740,000
一般正味財産振替額	15,000,000
指定正味財産期首残高	11,740,000
指定正味財産期末残高	20,000,000
III 正味財産期末残高	122,148,236

(単位：円)

(注1) 事業収益内訳

別刷収入	3,037,554
広告収入	1,946,597
会誌販売	333,585
受託業務収入	0
計	5,317,736

(注2) 管理費内訳

給与手当	6,383,978
法定福利費	702,428
会議費	724,635
旅費交通費	4,489,953
通信運搬費	875,696
消耗品費	894,210
印刷費	542,086
消費税	993,139
賃借料	1,770,520
支払手数料	2,106,199
雑費	1,293,959
計	20,776,803

# 正味財産増減計算書 内訳表

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	一般会計	学術集会会計	S S C 会計	その他特別会計	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取会費	14,362,000				14,362,000
②受取寄付金	22,330,000		990,000	15,000,000	38,320,000
③事業収益	5,317,736				5,317,736
④雑収益	58,095				58,095
⑤他会計からの繰入			4,256,356		(△4,256,356)
経常収益計	42,067,831		5,246,356	15,000,000	58,057,831
(2) 経常費用					
①事業費					
会誌印刷費	6,314,765				6,314,765
編集費	603,335				603,335
運送費	432,964				432,964
I T 事業費	200,572				200,572
S S C 事業費			5,246,356		5,246,356
②管理費	20,776,803				20,776,803
③他会計への繰入	4,256,356				(△4,256,356)
経常費用計	32,584,795		5,246,356		33,574,795
当期経常増減額	9,483,036			15,000,000	24,483,036
税引前当期一般正味財産増減額	9,483,036			15,000,000	24,483,036
法人税、住民税及び事業税	382,300				382,300
当期一般正味財産増減額	9,100,736			15,000,000	24,100,736
指定正味財産振替額				△ 8,260,000	△ 8,260,000
一般正味財産期首残高	86,307,500				86,307,500
一般正味財産期末残高	95,408,236			6,740,000	102,148,236
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産振替額				△ 6,740,000 15,000,000	△ 6,740,000 15,000,000
指定正味財産期首残高				11,740,000	11,740,000
指定正味財産期末残高				20,000,000	20,000,000
III 正味財産期末残高	95,408,236			26,740,000	122,148,236

# 監査報告書

一般社団法人日本血栓止血学会  
代表理事 坂田 洋一 殿

平成24年5月7日

一般社団法人日本血栓止血学会

監事 白幡 聡 ⑩

監事 松野 一彦 ⑩

監事 大村 醇吉 ⑩

私たち監事は、当法人の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの平成23年度に係る計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法およびその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上